

2023年3月期 決算説明資料

2023年5月16日

1. 2023年3月期 決算概要
2. 2024年3月期 業績予想
3. 各事業の概況
4. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、
実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。
尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数は切捨て、増減率は小数点以下第2位を四捨五入し小数第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2023年3月期 決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 営業利益の増減要因
- 3) キャッシュ・フロー
- 4) 株主還元（配当・自己株式取得）

1) 決算概要

2023年3月期 決算のポイント 前期比 【 減収減益 】

売上高

- ・マーケティングソリューション及びIoT事業での受託案件等が増加したものの、オートモーティブ事業において自動車生産調整の影響等によりカーナビゲーション用データの販売が減少し、2期ぶり減収

費用 ・ 損益

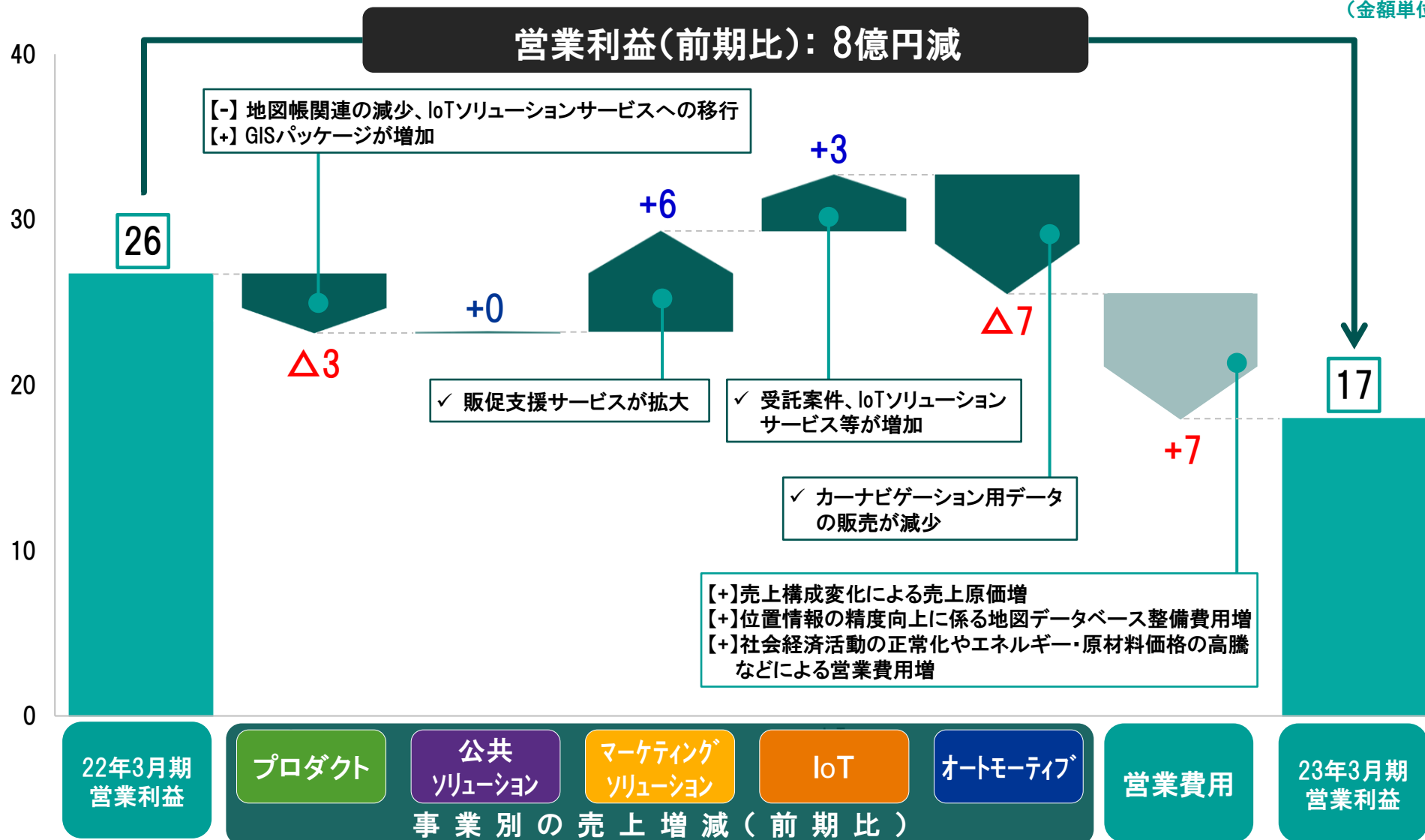
- ・売上高の構成変化による売上原価の増加、位置情報の精度向上に係る地図データベース整備費用の増加及び社会経済活動の正常化や原材料価格の高騰等により営業費用が増加し、営業利益及び経常利益は2期ぶり減益
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は、当期は投資有価証券売却益、固定資産売却益等を特別利益に計上
前期にも投資有価証券売却益等の計上があったことから減益

(金額単位:百万円)

	①前期実績 (2022年3月期)	当期(2023年3月期)						
		②期初予想 (4/28開示)	③修正予想 (3/29開示)	④実績	前期比(④-①)		期初予想比(④-②)	
					増減	増減率	増減	増減率
売上高	59,053	60,500	58,600	58,933	△119	△0.2%	△1,566	△2.6%
営業費用	56,382	57,500	57,050	57,134	+751	+1.3%	△365	△0.6%
営業利益	2,670	3,000	1,550	1,799	△871	△32.6%	△1,200	△40.0%
営業利益率	4.5%	5.0%	2.6%	3.1%	△1.4pt	-	△1.9pt	-
経常利益	3,044	3,200	1,750	2,104	△939	△30.9%	△1,095	△34.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,658	2,600	2,150	2,770	△887	△24.3%	+170	+6.6%

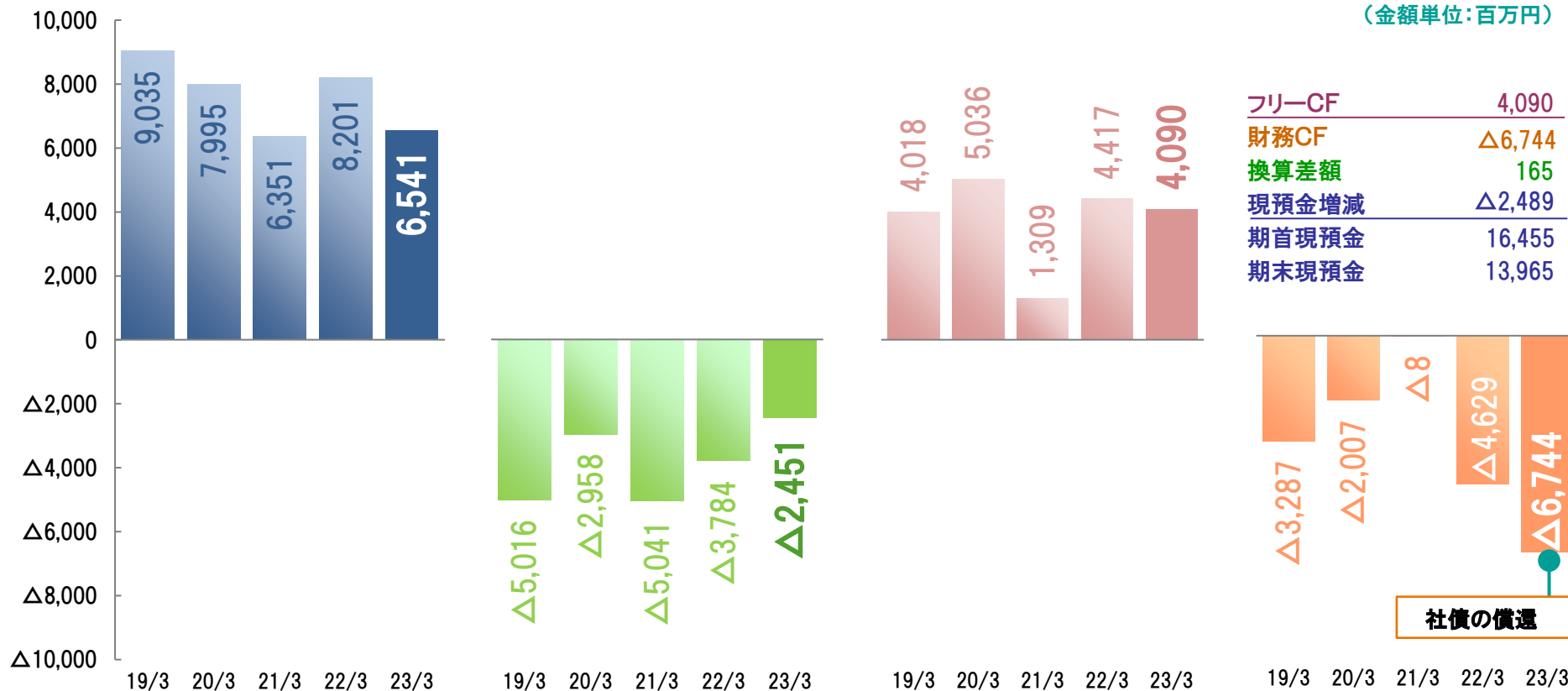
2) 営業利益の増減要因

(金額単位: 億円)



3) キャッシュ・フロー

(金額単位:百万円)



フリーCF	4,090
財務CF	△6,744
換算差額	165
現預金増減	△2,489
期首現預金	16,455
期末現預金	13,965

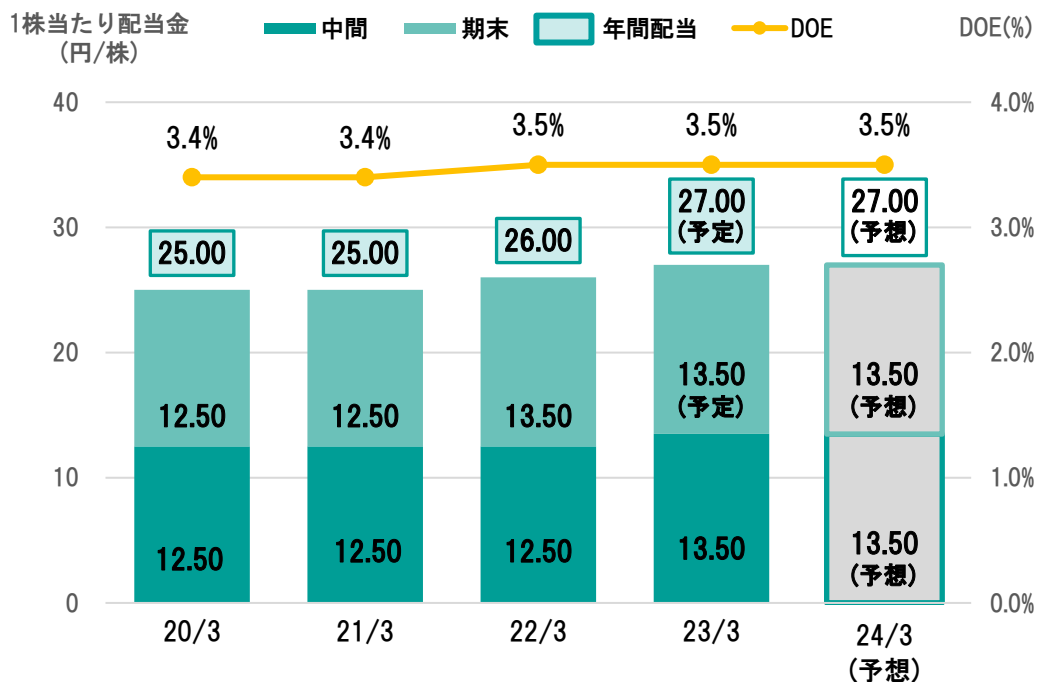
	営業CF	投資CF	フリーCF	財務CF
23年3月期	6,541百万円収入	2,451百万円支出	4,090百万円収入	6,744百万円支出
前期比	1,660百万円 収入減	1,333百万円 支出減	327百万円 収入減	2,115百万円 支出増

4) 株主還元

配 当

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施

連結株主資本配当率(DOE) 3%以上を目標



自己株式取得

資本効率の維持・向上に資する株主還元策として機動的に実施

資本政策、株価、市場環境、成長投資の機会等を考慮し決定

2023年3月期 取得実績		
	2022年7月28日 取締役会決議	2023年1月31日 取締役会決議
期間	2022年8月1日～ 2022年8月31日	2023年2月1日～ 2023年2月28日
株数	461,200株	383,400株
金額	433百万円	327百万円

2. 2024年3月期 業績予想

- 1) 通期業績予想
- 2) 業績予想の前提

1) 通期業績予想

2024年3月期 業績予想

売上高

- ・自動車の生産が回復傾向にあることに伴い、オートモーティブ事業の増収を見込むとともに、引き続き、GISパッケージなどのストック型サービスや、ソリューションサービスの拡大に取り組む

費用 ・ 損益

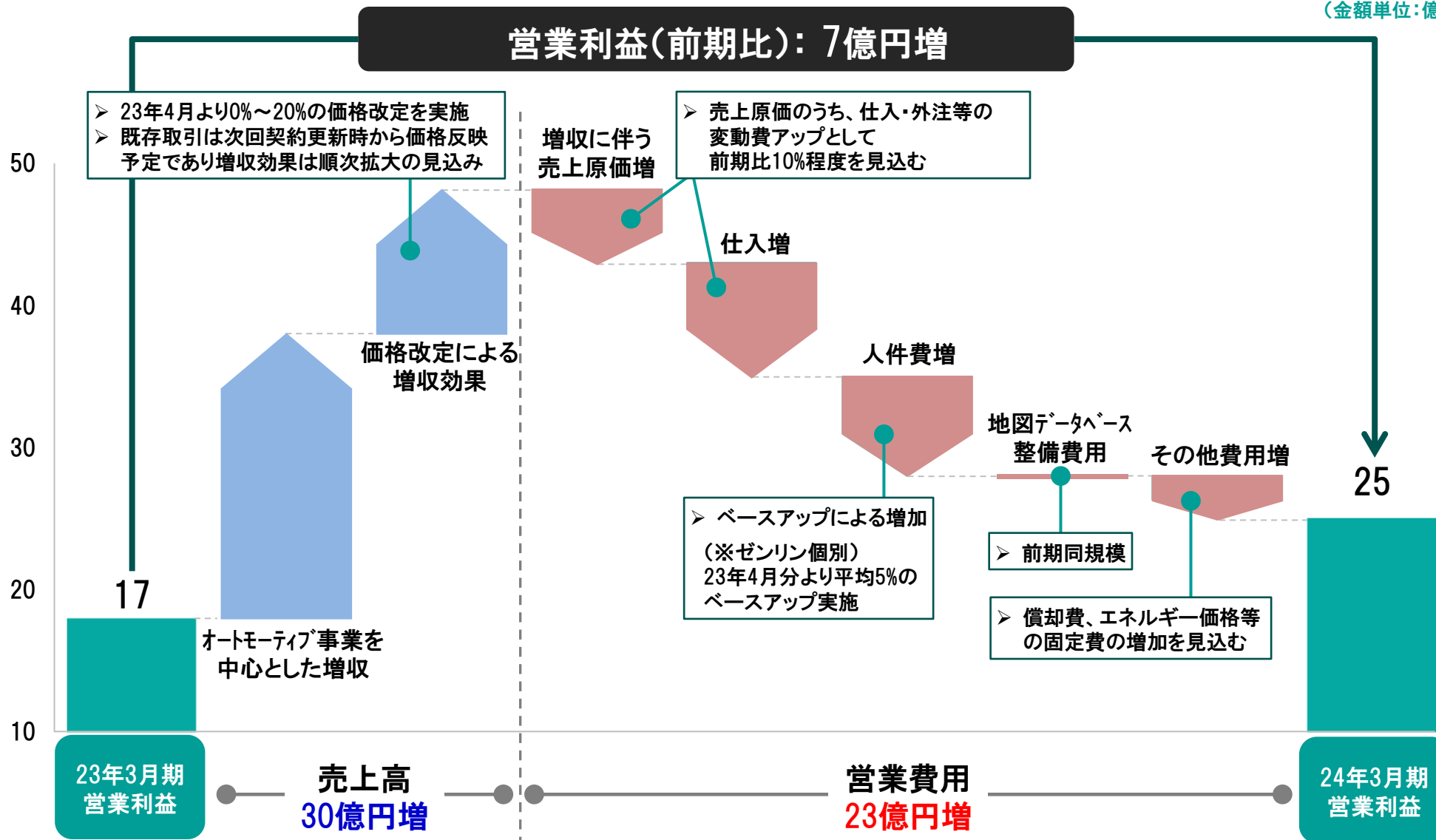
- ・費用面ではエネルギー・原材料価格の高騰や、賃上げによる人件費の増加を見込む
商品・サービスの価格改定(値上げ)も順次実施するが、2024年3月期の業績への影響は限定的
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は、前期、投資有価証券売却益、固定資産売却益等を特別利益に計上したが2024年3月期は特別損益の大きな影響は見込んでいないため、前期比で減益

(金額単位:百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	58,933	62,000	+3,066	+5.2%
営業費用	57,134	59,500	+2,365	+4.1%
営業利益	1,799	2,500	+700	+39.0%
営業利益率	3.1%	4.0%	+0.9pt	-
経常利益	2,104	2,700	+595	+28.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,770	1,800	△970	△35.0%

2) 業績予想の前提

(金額単位: 億円)



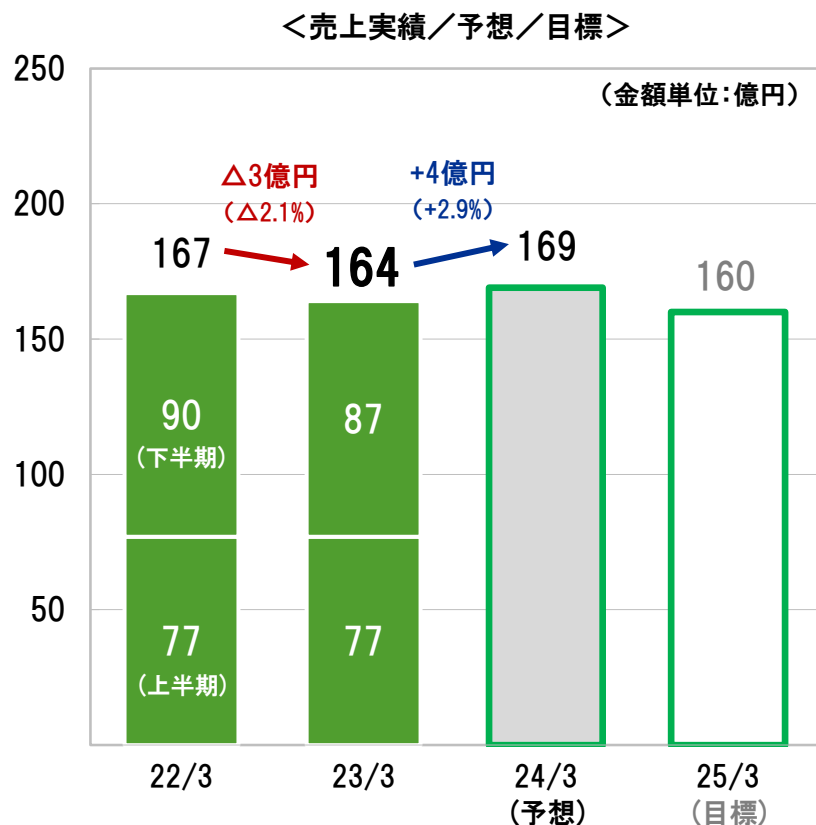
3. 各事業の概況

- 1) プロダクト事業
- 2) 公共ソリューション事業
- 3) マーケティングソリューション事業
- 4) IoT事業
- 5) オートモーティブ事業

2023年3月期 実績

減収

- GISパッケージなどストック型サービスは堅調に推移したものの、フロー型商品販売などが減少し事業全体では前期比減収

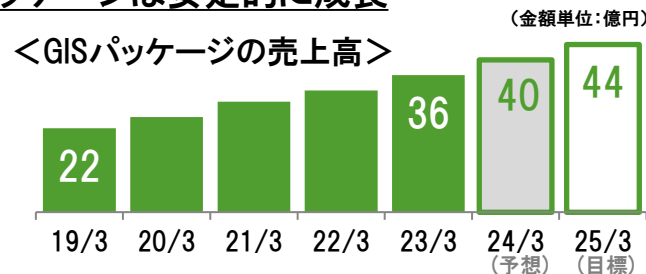


ZGP25 2nd Stage 進捗状況

GOAL

ストック型売上比率を70%に拡大

- GISパッケージは安定的に成長



- 従来の地図データ提供ビジネスから、ソリューション提供ビジネスへの転換(※)も進む
(※ソリューションの売上はIoT事業区分へ移行)

期末時点の比率 ストック:フロー = 50%:50%

今後の取り組み

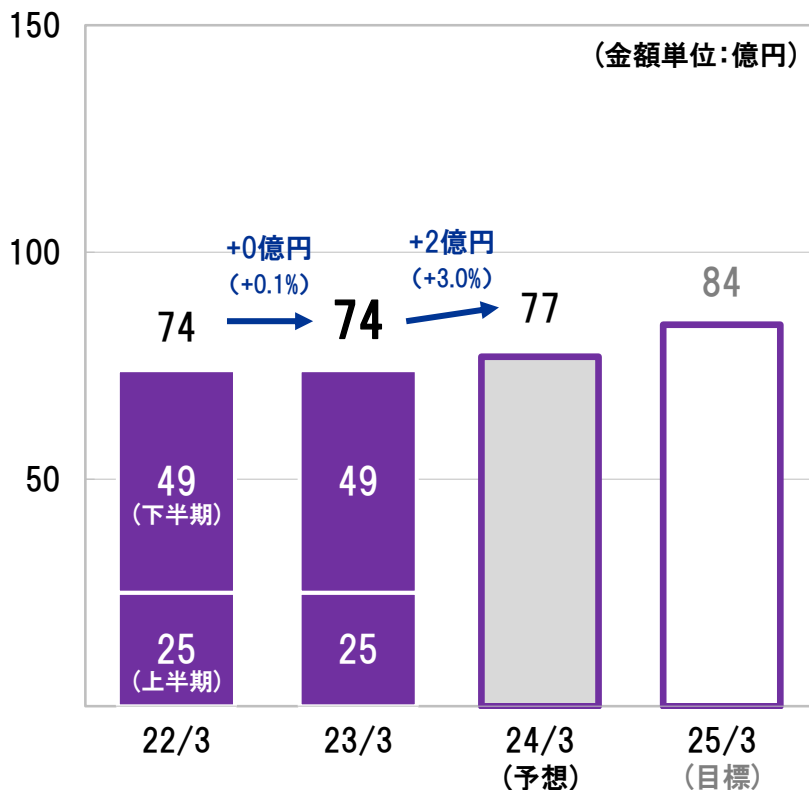
- GISパッケージ商品のラインナップ拡充等により、ストック型ビジネス売上比率拡大
- 「ZENRIN Maps API」の導入推進により、既存の地図データ提供ビジネスをソリューション提供ビジネスへと拡大転換

2023年3月期 実績

増収

- 自治体向けWebサービスや受託案件等で前期並みで推移

<売上実績/予想/目標>



ZGP25 2nd Stage 進捗状況

GOAL

フロー型ビジネスからストック型ビジネスへの転換と受託ソリューション提供による売上拡大

- 1st Stageでは、自治体の地図プラットフォームになることを目指し「住宅地図データ」を目標の1000自治体へ導入達成
- 2nd Stageでは、都度入札する受託ビジネスから、継続的なストック型への転換を強化し、ストック型サービスの開発、導入を推進
 - 「ゼンリン住宅地図 LGWAN」(2018年4月～)
⇒総合行政専用ネットワークLGWANに対応
 - 「自治体専用 住宅地図 for Web」(2022年4月～)
⇒低価格で簡単導入。自治体DX化の第一歩を支援

両サービス合わせて300超の自治体に導入
自治体における地図プラットフォームを確立

- 自治体と連携し地域の社会課題解決への取り組みを推進
⇒長崎県3市と包括連携協定締結

今後の取り組み

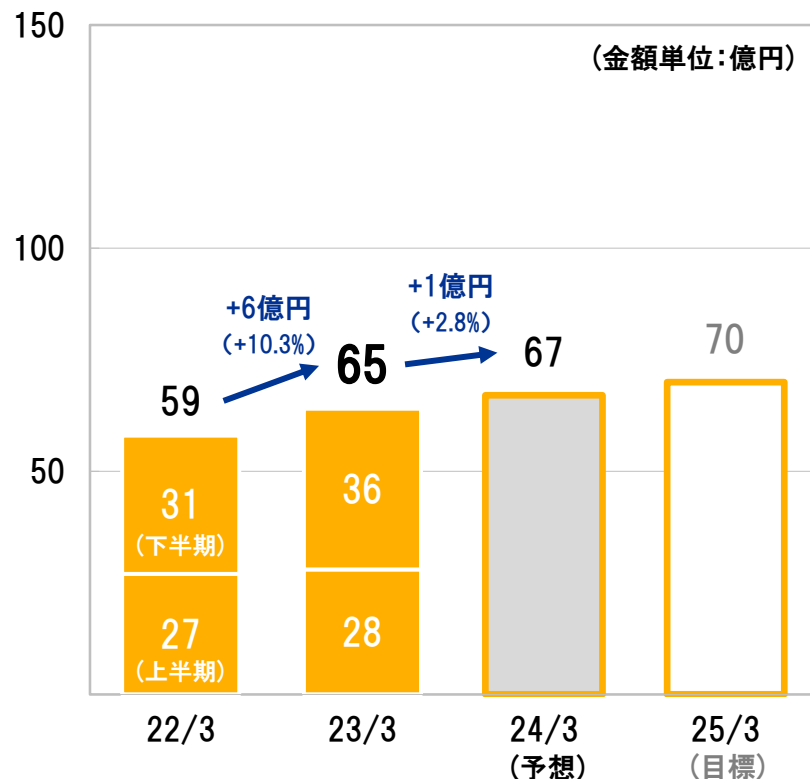
- 自治体DX支援の強化およびストック型ビジネスへの転換を推進
- 地域の社会課題解決を目指す地域共創ビジネスを推進

2023年3月期 実績

増収

- コロナ禍で縮小した企業の広告需要回復に伴い販促支援サービスが伸長し、前期比大幅増収

<売上実績/予想/目標>



ZGP25 2nd Stage 進捗状況

GOAL

地域の中小企業や個人事業主向け販促課題の解決により収益拡大を実現

- 2021年1月に「らくらく販促マップ」を発売
地域の中小個店を対象に、チラシ配布エリアの選定から、チラシ作成、配布までの販促活動を、簡単な操作、低価格で提供・支援するストック型のオンラインサービス
- 「らくらく販促マップ」にオプションを追加した「セレクションサービス」が好調に推移し、当事業を牽引 (2023年3月期の主な増収要因)
- 販促のコンサルティングサービスも拡大
2022年10月には、グループ会社の(株)ゼンリンマーケティングソリューションズから、一連の店舗マーケティングをサポートするクラウドサービス「ArmBox」の提供を開始

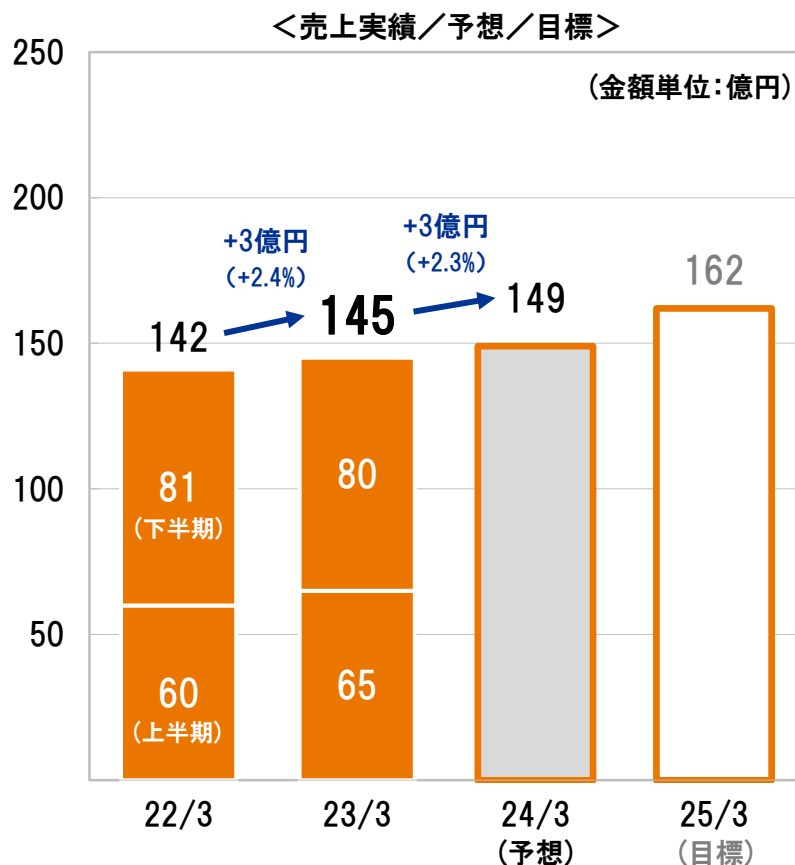
今後の取り組み

- 販促支援パッケージの販売推進を継続
- パッケージを入口として高付加価値サービスの提供・拡大

2023年3月期 実績

増収

- 子会社における減収要因があったものの、大手企業向けのソリューションサービスやスマホ向け配達アプリなどが堅調に推移し、全体では前期比増収



ZGP25 2nd Stage 進捗状況

GOAL

「ZENRIN Maps API」を活用した業界別ソリューション強化による売上拡大

- 「ZENRIN Maps API」の売上が、既存・新規顧客ともに伸長（顧客は主に、不動産・金融・インフラ関連企業）
- ニーズの高まる物流関連のソリューションサービスやスマホ向け配達アプリなどが堅調に推移
- 当社DBコンテンツやノウハウを活用したサービスも拡大
 - データクレンジング等の新規受託案件
 - WEBサービス提供者向けライセンスビジネスの規模拡大

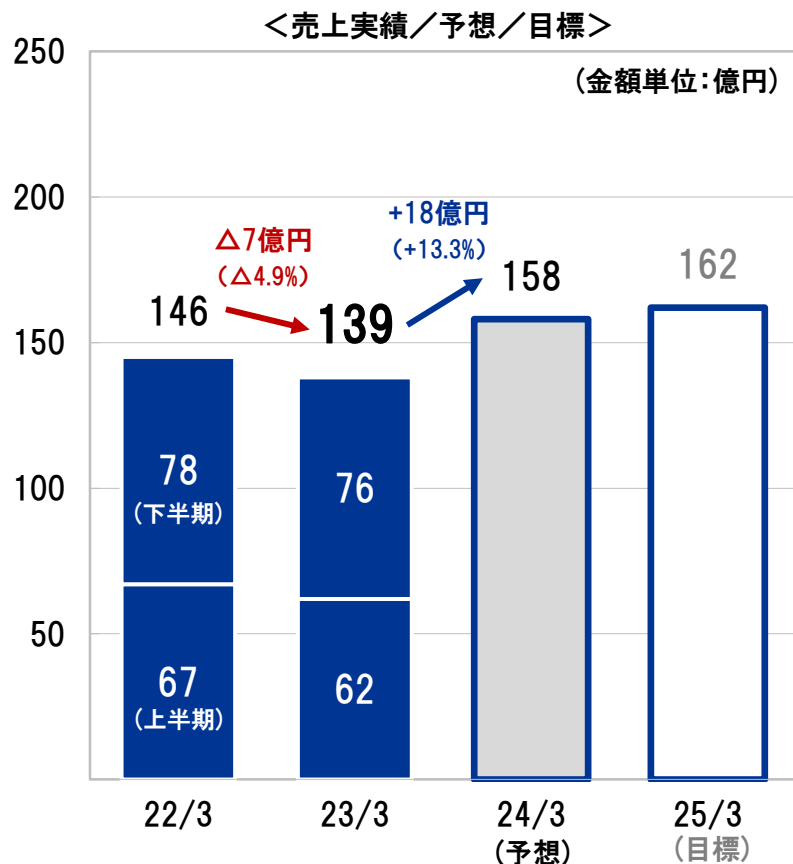
今後の取り組み

- ソリューションビジネスの新規顧客開拓強化
- 「ZENRIN Maps API」を活用し、業界/業務別に最適化したソリューションパッケージの開発推進
- 他社とのアライアンスによる事業基盤の強化継続と新サービスの共創で、新たなビジネスモデルを構築

2023年3月期 実績

減収

- 半導体不足や世界情勢に起因した自動車生産調整の影響などを受け前期比減収



ZGP25 2nd Stage 進捗状況

GOAL

ビジネス領域の拡大とADASコンテンツによる高付加価値化

- 2023年3月期は、コロナ禍前への復調を見込んだ計画としていたが長期化する半導体不足を背景としたメーカーの生産調整等により、カーナビビジネスは前期比減収に

	(前期比)
オートモーティブ事業売上高	: ▲4.9%
カーナビ出荷台数※1	: ▲5.9%
新車販売台数(登録車・軽自動車)※2	: +4.0%

※1: (社)電子情報技術産業界(JEITA) 民生用電子機器国内出荷統計
※2: (社)日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会

- 2024年3月期は、自動車市場の回復を想定しているが、生産と流通の完全な正常化は2024年以降と予測。当社は、高価格帯の商品及び市場シェアの拡大により、コロナ禍前の売上水準を目指す

今後の取り組み

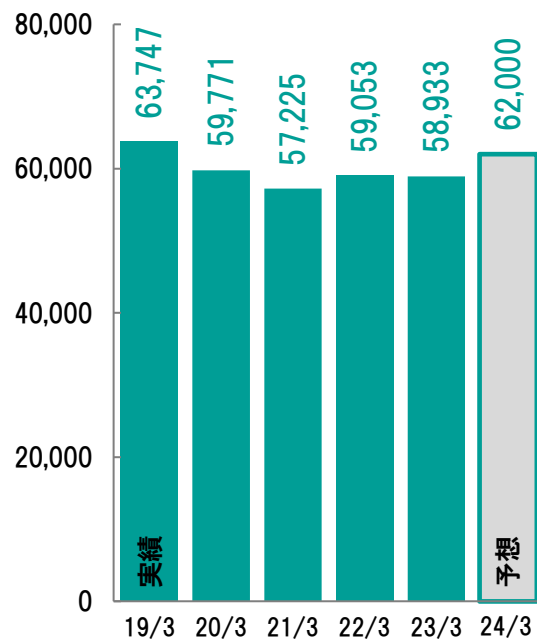
- 高付加価値化でナビの市場シェア拡大、安定売上の維持
 - EV/ADASコンテンツの提案強化
 - コネクテッド対応のナビアプリ開発によるビジネス領域の拡大
- 日系メーカーのグローバル展開に対応
 - 2016年に子会社化したAbalta technologiesのWebLink採用拡大
 - パイオニアをはじめとした日系メーカーの米国、東南アジア、ドイツ等各エリア向けのサービスとして採用

4. Appendix

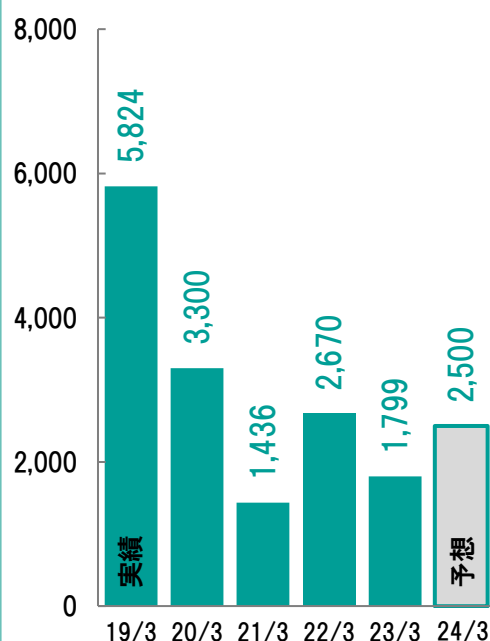
- 1) 売上高・利益の推移
- 2) 事業別売上高の推移
- 3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 4) 四半期売上高構成比率の推移
- 5) 主なニュースリリース・お知らせ

1) 売上高・利益の推移（実績・予想）

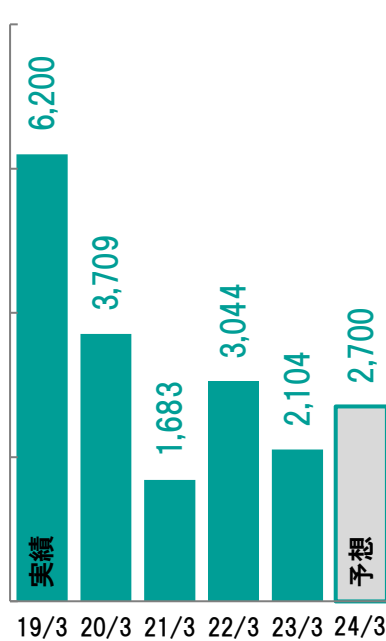
（金額単位：百万円）



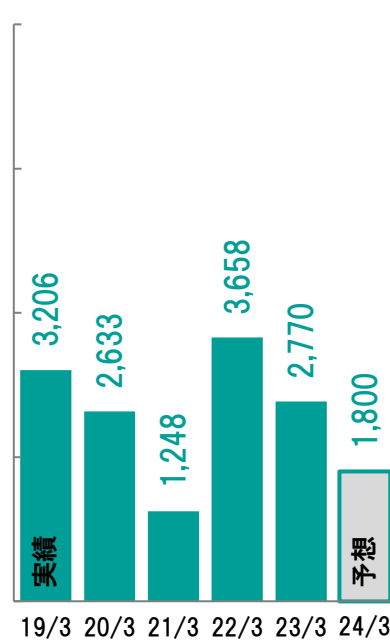
売上高



営業利益



経常利益

親会社株主に帰属する
当期純利益

24年3月期予想

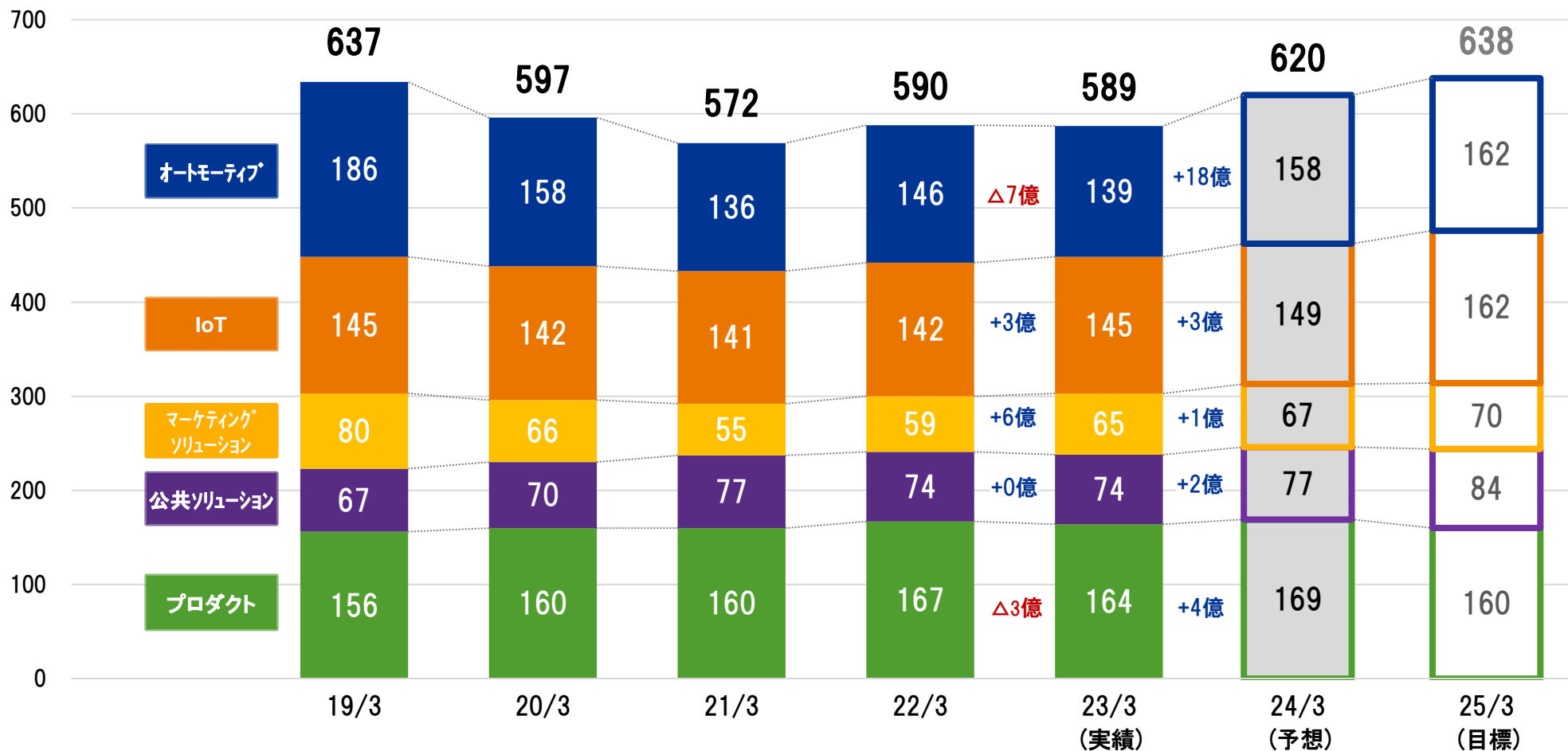
2期ぶり増収

2期ぶり増益

2期連続減益

2) 事業別売上高の推移

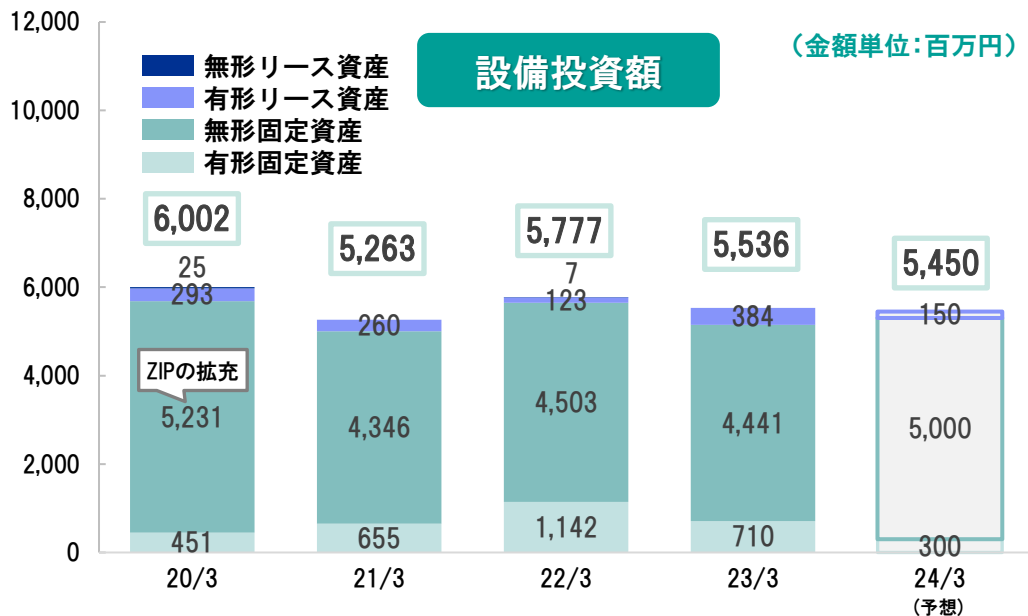
(金額単位: 億円)



3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

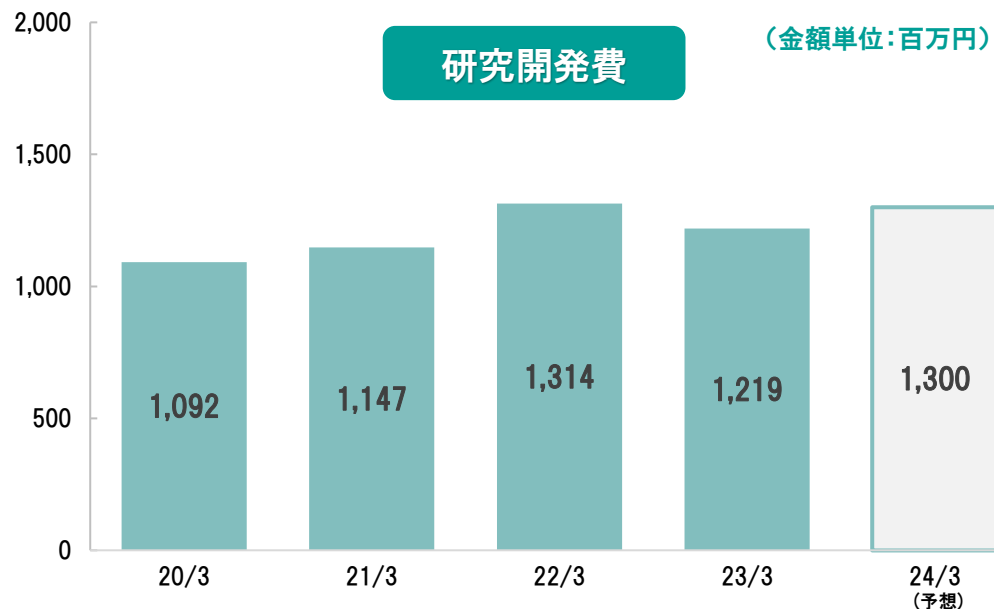
設備投資額

(金額単位:百万円)



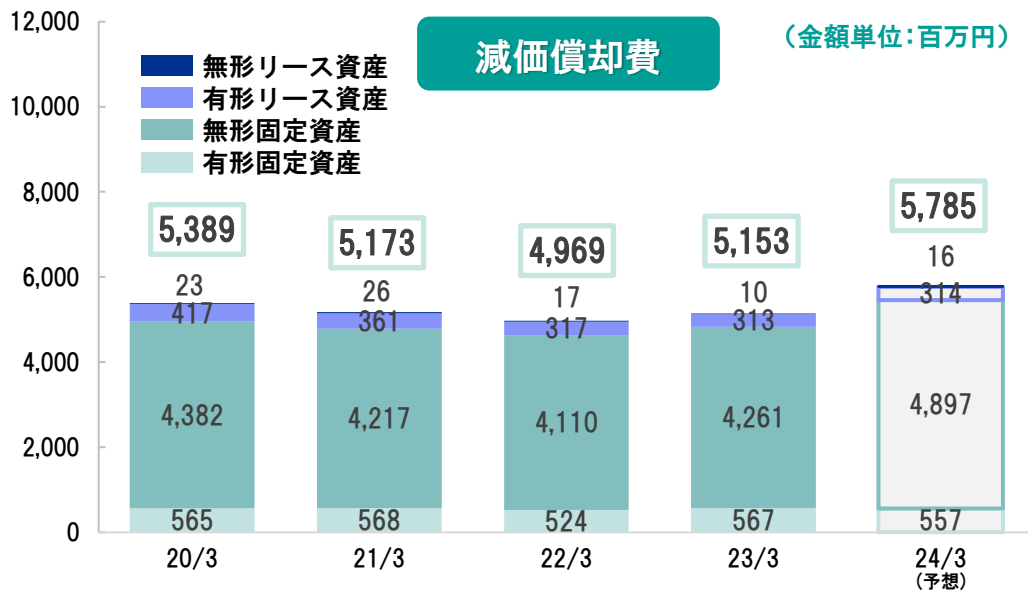
研究開発費

(金額単位:百万円)

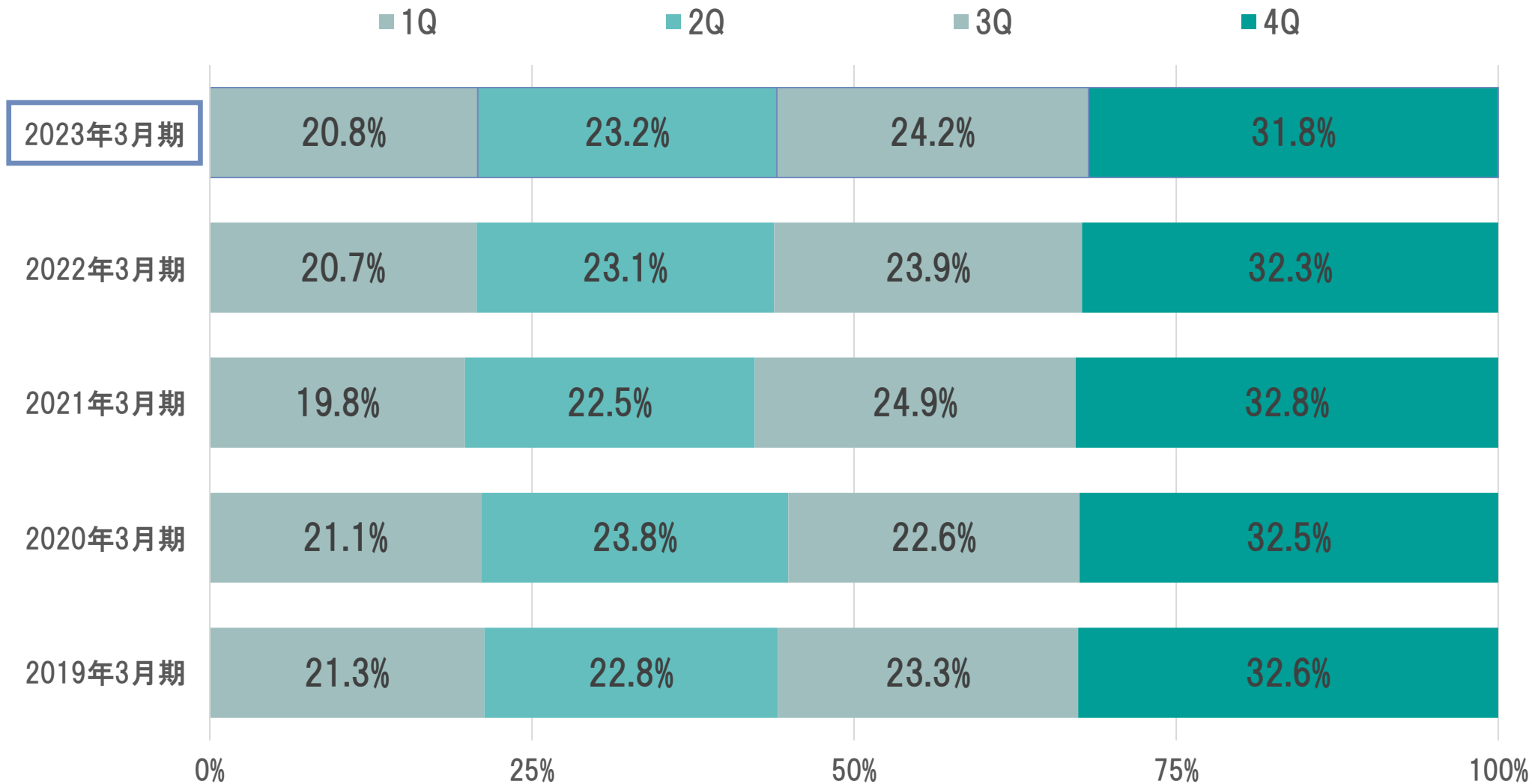


減価償却費

(金額単位:百万円)



4) 四半期売上高構成比率の推移



5) 主なニュースリリース・お知らせ

23年3月期【上半期】

リリース日	タイトル	事業区分
2022年 4月20日	自治体向け新サービス「自治体専用 住宅地図 for Web」提供開始	PU
4月27日	ゼンリンの「高精度3次元地図データ(HDマップ)」が日産自動車のクロスオーバーEV(電気自動車)「日産アリア」の最先端運転支援技術「ProPILOT 2.0」に採用されました。	AM
4月28日	中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN 2025」のローリングプランについて	その他
5月9日	「第13回 教育 総合展(EDIX)東京」に出展 地図上で学ぶプログラミング学習ツール「まなっぷ School Edition」を紹介	PR
5月10日	ゼンリンとMoT 3万台のドライブレコーダー映像を活用した地図情報メンテナンス 全国の高速道路にて試験運用開始	AM
5月23日	「バリアフリー地図/ナビ」機能における車いすユーザー移動経路表示の精度向上(全日本空輸(株)、(一社)Wheelog、ZDC)	IoT
5月30日	住宅地図の著作権侵害訴訟に関する判決について	その他
6月15日	地図がデザインされた文具・雑貨を販売する専門サイト「Map Design GALLERYオンラインストア」6月15日にオープン！	PR
6月22日	「第5回 自治体・公共Week」に出展 地域のまちづくりを支えるゼンリンのマップソリューションを紹介	PU
7月20日	佐世保市と包括連携協定を締結	その他
7月22日	-スカパーJSAT・ゼンリン・日本工営・QPS研究所- 福岡市実証実験フルサポート事業「宇宙」採択プロジェクト 衛星データを活用したため池モニタリング実証で有効性を確認	PU
7月27日	地図上で学ぶプログラミング学習ツール 新商品「まなっぷ Home Edition」を7月27日に発売！	PR
8月16日	「かしいかえん」をデジタル空間で再現！！(ジオ技術研究所)	その他
8月31日	ゼンリンとパイオニア、脱炭素社会の実現に向け、EVソリューションに関するパートナーシップ契約を締結	AM
9月9日	ゼンリンデータコムとNX総合研究所が、生産現場・物流現場におけるDX活動支援サービスの提供を開始	IoT

※詳細は当社ホームページをご覧ください (<https://www.zenrin.co.jp/information/>)

5) 主なニュースリリース・お知らせ

23年3月期【下半期】

リリース日	タイトル	事業区分
2022年 10月3日	JA共済連が提供する「JA共済アプリ」の新機能『防災アラートメール』にゼンリンデータコムの配信システムが採用	IoT
10月6日	観光型MaaSの実証実験にて提供中の観光情報Webサイト&スマートフォンアプリ「STLOCAL」に佐世保・西九州エリアを追加	IoT
10月11日	2023年3月1日から「ゼンリン地図ナビ」の提供を開始 ～現在ドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」を引継ぎ～	IoT
10月11日	大分県大分港にて三井E&Sマシナリーとゼンリンデータコムが自動飛行・撮影ドローンによる遠隔間接目視点検技術を確認	IoT
10月25日	緊急物資輸送に関する連携協定を秩父市と締結 ～秩父市中津川地内でドローンを活用した緊急物資輸送の早期実現を目指す～	IoT
10月25日	多店舗型ビジネス戦略を支援するクラウドサービス「ArmBox」10月26日より提供開始	MS
11月21日	「誰でもその日から配達」を実現する配達管理サービス Delivery Support Systemの販売を本日より開始	IoT
12月20日	埼玉県秩父市の山間地域における実証実験を実施 遠隔運用によるドローン配送とオンライン栄養指導・デジタル医療機器の有用性を検証	IoT
2023年 1月11日	NTTデータ・ゼンリン・アルプスアルパインが交通や地域社会課題の解決に向けて協業 2023年4月より、沖縄県にてドライブレコーダーを活用した実証実験を実施	AM
1月12日	秩父市と横瀬町、デジタル田園都市構想の関連事業を開始 ～AIデマンドタクシーサービスがリニューアル～	IoT
1月18日	-ゼンリン・V・ファーレン長崎・長崎ヴェルカ・十八親和銀行- 長崎県の観光周遊の活性化を目指して「ながさきのまち魅力発信連携協定」を締結	IoT
1月26日	秩父市中津川地内でStarlinkを活用したドローン定期配送を開始	IoT
2月21日	～秩父観光をもっと楽しく！もっと便利に！～ 秩父市・横瀬町の観光型MaaS事業「のってみ秩父」を開始	IoT
3月1日	ゼンリン住宅地図搭載の地図・ナビゲーションサービス「ゼンリン地図ナビ」を2023年3月1日から提供開始	IoT
3月3日	世界中で500万台以上の車両に使用されている車載用プラットフォーム「WebLink®」が日本初上陸！	AM
3月8日	北九州市教育委員会と「学校におけるICT活用推進に向けた連携協定」を締結	PR
3月22日	長崎県大村市と包括連携協定を締結	その他
3月23日	地図がデザインされた文具・雑貨を販売する専門店「Map Design GALLERY小倉」3月25日(土)にリニューアルオープン！	PR

※詳細は当社ホームページをご覧ください (<https://www.zenrin.co.jp/information/>)

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>

IR問い合わせ先 zenrin-ir@zenrin.co.jp